

■韓国全州市のご一行を歴史ガイド 5月13日

韓国南西部全羅北道の全州チョンジュ市（10世紀初頭、甄萱キョンフォンを王とする後百済の都で、李朝朝鮮発祥の地）から6名の韓国の方（サポーターは日本人9名）をご案内しました。

最初は、緊張しましたが、お客様が熱心で、同行の韓国の方が上手に通訳していただいたので、非常に楽しくガイドできました。コースは、お客様の要望で葛井寺・辛國神社・道明寺天満宮・道明寺・仲姫皇后陵古墳・応神天皇陵古墳を廻り、説明には、当時の朝鮮と倭の関係を多く取入れながら丁寧に行ったので、ガイド終了後には、握手攻めにあいました。

お互いの理解が深まったことから、意義ある出会いであったと感謝しています。通訳を通し熱意をもって話したことにより、日本語の説明でも通じ合えましたが、将来は韓国語で説明したいと言うのが本音です。今後、世界遺産登録後に向け、外国人に対するガイドも充実させて行くことが大切だと痛感しています。

なお、全州市は、韓屋村に代表される伝統的な建造物が多く残され、全州マッコリ（食べきれない程のつまみが出るようです）や世界遺産に指定されたパンソリ（伝統音楽）とハンチュム（伝統舞踏）などが有名な都市で、一度訪ねてみたいと思います。